

Panasonic

ネットワーク機能編

(TH-LB10NT)

もくじ（ネットワーク機能編）

ワイヤレスカード 使用上のお願い	使用できるチャンネルについて
4	6

ネットワーク機能の利用例
7

ソフトウェアのインストール	Wireless Manager ME (Mobile Edition)
必要なシステム構成	Wireless LAN Driver
8	9
8	10

本機へのワイヤレスカードの挿入、 取り出し
13

パソコンへのワイヤレスカードの 挿入、取り出し
14

ワイヤレス簡単接続 (初期設定で使用する)	パソコンの操作
本機との接続を解除する	
15	16
15	17

Wireless Manager ME を使用する	ポインターモード
起動	ポインターモードを終了するには
接続先選択画面の説明	オプション
ランチャーとメニューの説明	画質の選択
ライブモード	ライブモードの設定
ライブモードを終了するには	ショートカットキーの設定
マルチライブモード	接続時にパスワードが必要なときの操作
4画面スタイル	接続先の追加と削除
インデックススタイル	接続先の追加
ワンショットモード	接続先の削除
18	24
18	24
18	24
19	24
20	25
20	25
21	26
21	26
22	26
23	

ネットワークメニューの表示
27

もくじ (ネットワーク機能編) (つづき)

その他の使いかた	本機の操作	30
(初期設定を変更する)	パソコンの操作	30
ネットワーク番号を変更する	ユーザー設定の変更	31
本機の操作	本機の操作	31
パソコンの操作	パソコンの操作	31
ワイヤレスパスワード付き接続	パソコンの設定	32
本機の操作	TCP/IPの設定	32
パソコンの操作	別売ワイヤレスカード (TW-CDWL3)	
ワイヤレスユーザー接続	使用のための設定	34

初期設定に戻す	パソコンの操作	37
本機の操作		37

WEBブラウザコントロールを 使用する	プロジェクトコントロール	41
本機の設定	基本制御画面	41
パソコンの設定	オプション制御画面	41
WEBブラウザコントロールの起動	モニター情報画面	42
トップ画面	ネットワーク設定画面	42
	パスワード変更画面	42

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード) の使用について	Wireless LAN Driverのインストール	44
使用できるチャンネルについて	TW-CDWL2使用のための設定	49

ソフトウェアのアンインストール	Wireless LAN Driver	52
Wireless Manager ME		52

用語の説明	商標について	57
修理を依頼される前に		55

以下のことをあらかじめご了承ください。

- 本機の使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ワイヤレスカード使用上のお願い

別売のワイヤレスカード（TW-CDWL3またはTW-CDWL2）は、2.4 GHz帯域の電波を使用します。ワイヤレスカードを使用する場合、無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

■ 他の無線機器の近くで使用しないでください。

下記の機器は、ワイヤレスカードと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでワイヤレスカードを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- 電子レンジなど
- 産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- 特定小電力無線局

■ ワイヤレスカードの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ワイヤレスカードと違う帯域の電波を使用しておりますので、ワイヤレスカードの通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ワイヤレスカードからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

■ 鉄筋・金属・コンクリートなどは、ワイヤレスカードの電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

ワイヤレスカード使用上のお願い (つづき)

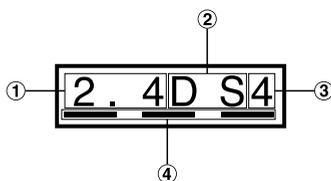
この機器の使用周波数帯は、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が使用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先に混信回避のための処置（パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

☎ (06) 6906-2894

カード裏面ラベルの記号について



①	使用周波数帯域	2.4 GHz
②	伝送方式	DS-SS方式
③	想定干渉距離	40 m以下
④	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」 「特定小電力無線局」帯域を回避可能

ワイヤレスカード使用上のお願い (つづき)

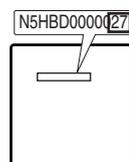
■ 使用できるチャンネルについて

ワイヤレスカードを使用される国または地域によって使用できるチャンネル（周波数範囲）が異なります。下記の表を参照してください。

TW-CDWL3の場合（TW-CDWL2の場合は43ページ参照）

国または地域	規格	カード品番 の下二桁※	使用 チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD33 & T66	27	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
アメリカ	FCC part 15	28	1 - 11	2,412 MHz - 2,462 MHz
台湾	DGT			
マレーシア	SIRIM			
イギリス、ドイツ、 フランス、イタリア、 ベルギー、オーストリア、 スウェーデン、 ノルウェー、デンマー ク、スイス、オランダ、 フィンランド、 ポルトガル、ギリシャ、 タイ、韓国、 オーストラリア、 ニュージーランド	ETSI 300.328	29	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
スペイン	ETSI 300.328	31	10、11	2,457 MHz - 2,462 MHz
シンガポール	IDA	30	10 - 13	2,457 MHz - 2,472 MHz

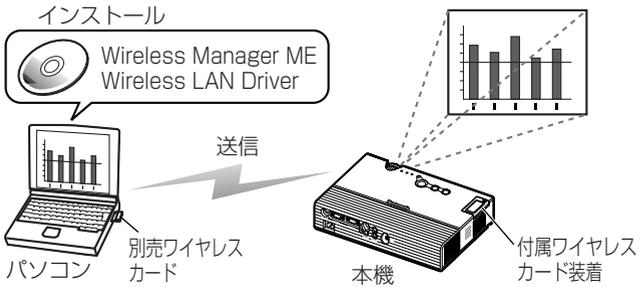
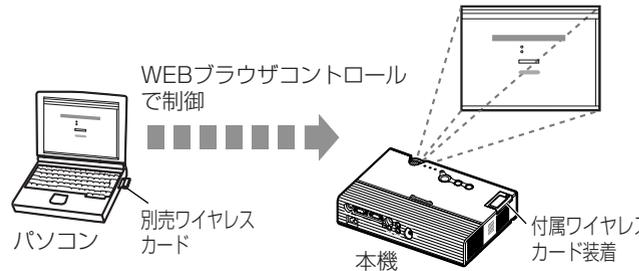
※お買い上げのワイヤレスカードが、どの地域向けの商品であるかを調べるには、カード裏面ラベルの右図の位置に記載されている品番の下二桁を確認してください。



お知らせ：

指定された国以外に、ワイヤレスカードを持ち込むことはできません。もし、持ち込んで使用した場合、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

ネットワーク機能の利用例

<p>ワイヤレスでパソコンの画像を投写する</p> <p>インストール</p> <p>Wireless Manager ME Wireless LAN Driver</p> <p>送信</p> <p>パソコン</p> <p>別売ワイヤレスカード</p> <p>本機</p> <p>付属ワイヤレスカード装着</p> 	<p>ソフトウェアのインストール (8ページ参照)</p> <p>ワイヤレス簡単接続 (15ページ参照)</p>
<p>WEBブラウザコントロールで本機を制御する</p> <p>WEBブラウザコントロール で制御</p> <p>パソコン</p> <p>別売ワイヤレスカード</p> <p>本機</p> <p>付属ワイヤレスカード装着</p> 	<p>ワイヤレス簡単接続 (15ページ参照)</p> <p>WEBブラウザコントロール (38ページ参照)</p>

ソフトウェアのインストール

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使用するには下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

- OS: Windows XP/2000/Me (Millennium Edition)
/98SE (Second Edition)
- CPU: Pentium III以上もしくは互換のプロセッサ搭載 (Celeron 633 MHz以上を推奨、ただし、ライブモード使用時は800 MHz以上を推奨)
- メモリー: 64 MB以上 (Windows XP/2000 の場合は、128 MB以上)
- ハードディスクの空き容量:
44 MB以上
- ハード条件: CD-ROMドライブ (ソフトウェアのインストール、取扱説明書の閲覧)
PC (PCMCIA) カードスロット (TYPE IIまたはTYPE III) を内蔵
ワイヤレスカード (TW-CDWL3またはTW-CDWL2) が装着されており、正常に動作すること
- WEBブラウザ: Internet Explorer 6.0以上
Netscape Communicator 7.0以上

お知らせ:

上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切しませんので、あらかじめご了承ください。

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

ソフトウェアのインストール (つづき)

Wireless Manager ME (Mobile Edition)

Wireless Manager ME :

ワイヤレスLANで、パソコンから画面をプロジェクターに送るために使用します。

お知らせ :

- Windows上で起動しているすべてのソフトを終了してください。インストールできなくなる場合があります。
- Windows XP/2000 では、インストールするためにAdministratorの権限が必要です。

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にインストールプログラムが起動し、下の画面が表示されます。



お知らせ :

自動的に起動しないときは、CD-ROM内の [EasyInstall] → [Easy_Inst.exe] をダブルクリックしてください。

2 [Wireless Manager ME]をクリックする

画面の指示に従ってインストールしてください。

ソフトウェアのインストール (つづき)

Wireless LAN Driver

パソコンでワイヤレスカードを使用するためには、Wireless LAN Driverのインストールが必要です。

- TW-CDWL3の場合のインストール例を以下に説明します。(TW-CDWL2の場合は44ページ参照)
- TW-CDWL3 または TW-CDWL2 以外のカードの場合は、そのカードの取扱説明書をご覧ください。
- いくつかの画面は英語で表示されます。

お願い：

- Wireless LAN Driverをパソコンにインストールするときは、ワイヤレスカードをパソコンに挿入する前に実行してください。
- 誤ってドライバのインストール前にカードをパソコンに挿入した場合は、ハードウェアの自動検出により不明なデバイスとして認識されます。カードを挿入したまま以下の作業をしてからインストールしてください。

Windows XP/2000： [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] → [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたは Panasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する

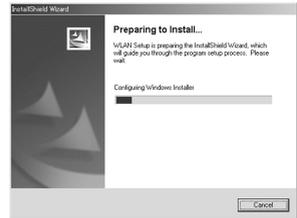
Windows 98SE/Me： [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたは Panasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する

ソフトウェアのインストール (つづき)

Windows 2000/98SE/Me の場合：

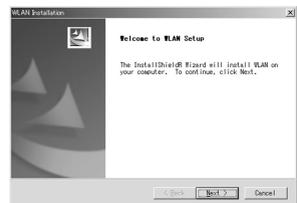
1 9ページ手順1の画面で [Wireless LAN Driver] をクリックする

ワイヤレスLANのインストーラが起動されます。



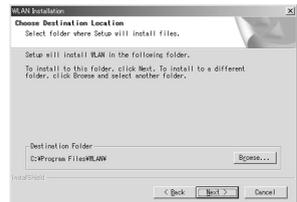
2 [Next] (次へ) をクリックする

License Agreement (使用許諾) が表示されます。



3 ユーティリティの保存先を指定し、[Next] をクリックする

ソフトウェアがダウンロードされます。



4 [Yes, I want to restart my computer now.] (今からパソコンを再起動します。) にチェックがあるのを確認し、[Finish] (完了) をクリックする

パソコンが再起動されます。



5 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL3) をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する

(14ページ参照)

右の常駐アイコンが確認できればインストール完了です。[デジタル署名が見つかりませんでした] が表示された場合は、[はい] をクリックして続行してください。



ソフトウェアのインストール (つづき)

Windows XP の場合：

“Windows 2000/98SE/Meの場合” の手順1～4を実行後、次の操作をします。

5 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL3) をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する (14ページ参照)

新しいハードウェアの検出ウィザードが起動されます。



6 [ソフトウェアを自動的にインストールする] にチェックが入っているのを確認し、[次へ] をクリックする

ログテキストのメッセージが表示されます。

7 [続行] をクリックする

ウィザードの完了メッセージが表示されます。



8 [完了] をクリックする

ログ認証のメッセージが表示されます。



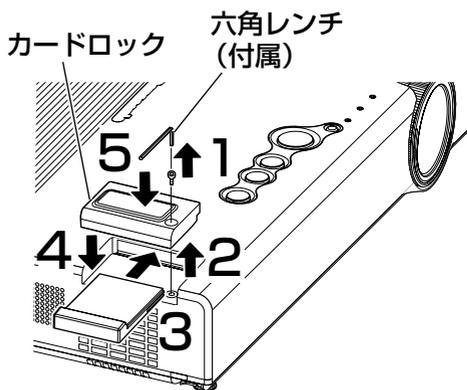
インストール後の確認：

[スタート] → [すべてのプログラム] → [接続] → [すべての接続の表示] でワイヤレスネットワーク接続のアイコンに [Panasonic Wireless LAN PC Card] が追加されていることを確認してください。

本機へのワイヤレスカードの挿入、取り出し

挿入

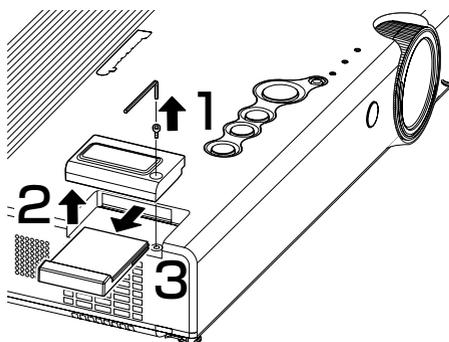
- 電源を切った状態で行ってください。
- 間違った方向でカードを無理に挿入すると故障の原因になることがあります。



- 1 カードロックのネジを取り外す
- 2 カードロックを取り外す
- 3 カードをロックするまで差し込む
- 4 カードロックを取り付ける
- 5 ネジでカードロックを固定する

取り出し

電源を切った状態で行ってください。

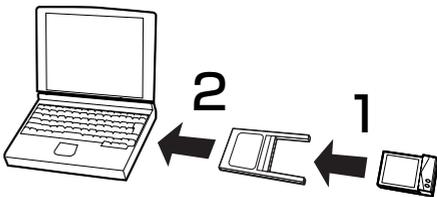


- 1 カードロックのネジを取り外す
- 2 カードロックを取り外す
- 3 カードを取り出す

パソコンへのワイヤレスカードの挿入、取り出し

挿入

- 挿入前に必ず Wireless LAN Driver をインストールしておいてください。(10ページまたは43ページ参照)
- TW-CDWL3またはTW-CDWL2の場合の例です。他のカードの場合はカードの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの取扱説明書もよくお読みください。
- 間違った方向でカードを無理に挿入すると故障の原因になることがあります。



1 カードをアダプターに取り付ける

2 パソコンのPCカードスロットに挿入する

取り出し

Wireless Manager ME を使用している場合は終了させてください。

1 画面右下のタスクバーに表示されている [PCカード] のアイコンをクリックする

[PCカード] のアイコンが表示されていない場合:

[スタート] → [コントロールパネル] → [PCカード] を開き、[タスクバー上にコントロールを表示する] をチェックした後、[OK] を押す

2 [Panasonic Wireless LAN PC Card] を選択し、[停止] をクリックする

3 [OK] を押し、ワイヤレスカードを取り出す

ワイヤレス簡単接続（初期設定で使用する）

お買い上げ時の設定のまま本機とパソコンをワイヤレス接続する場合、付属のワイヤレスカードと別売のワイヤレスカード（TW-CDWL3またはTW-CDWL2）を使用してWireless Manager ME を起動するとIPアドレス、通信モードなど必要な設定が自動的に行われます。

ただし、Wireless Manager ME と Wireless LAN Driver を必ずインストールしておいてください。

初期設定を変更して使用する場合は、28～36ページをご覧ください。

お知らせ：

- 上記の別売ワイヤレスカードをお使いでない場合、Windows Me/98SEでは、簡単接続は使用できません。
- Windows XP/2000 でも、すべてのワイヤレスカードやパソコン内蔵のワイヤレスLANアダプタでの動作を保証するものではありません。
- 簡単接続中は、他のネットワークアダプタが使用できないことがあります。

本機の操作

1 付属のワイヤレスカードを本機に挿入する（13ページ参照）
プロジェクター側のカードは、付属のカード以外は使用できません。

2 本機の電源をオンにする

ワイヤレス簡単接続（初期設定で使用する）（つづき）

パソコンの操作

- 1 別売ワイヤレスカードをパソコンに挿入する（14ページ参照）
- 2 パソコンの電源をオンにする
- 3 [スタート] → [プログラム] → [Panasonic Wireless Display] → [Wireless Manager mobile edition] を選択する
 - Wireless Manager ME が起動され、下の接続先選択画面が表示されます。



- 4 接続先を選択し、[OK]をクリックする
下のランチャーが表示され、本機との接続が確立されます。



お知らせ：

- 本機とパソコンのネットワーク番号の初期設定値は共に「1」です。接続するためにはこの番号が合っていることが必要です。
- ご使用のパソコンやワイヤレスカードによっては、自動設定ができないことがあります。そのとき、上記手順3の画面の「ネットワーク」の設定は自動的に「USER」に切り替わります。このときの接続方法については、いったん Wireless Manager ME を終了させたうえで、30ページをご覧ください。

ワイヤレス簡単接続（初期設定で使用する）（つづき）

本機との接続を解除する

1 ランチャーの [X] をクリックする

下の画面が表示されます。



2 [はい] をクリックする

終了時にパソコンのネットワーク設定が元に戻ります。
ただし、元のネットワーク設定に戻るまで時間を要することがあります。

Wireless Manager ME を使用する

起動

[スタート] → [プログラム] → [Panasonic Wireless Display] → [Wireless Manager mobile edition] を
選択する

接続先選択画面の説明



接続するネットワーク番号が違う場合は、接続するネットワーク番号を選択します。この選択によってネットワーク設定が変更されます。
このネットワーク番号はパソコンに記憶されますので、次の起動時は現在の番号で接続されます。

このプロジェクターに接続している人数を表示

このプロジェクターの状態を表示

接続時にパスワードが必要なとき表示(26ページ参照)

プロジェクター固有のID

[ネットワーク] が [USER] の場合は、接続する機器を指定できます

プロジェクターの名前

クリックすると、該当するプロジェクターの投写画面の左上にプロジェクター名が表示されます

お知らせ :

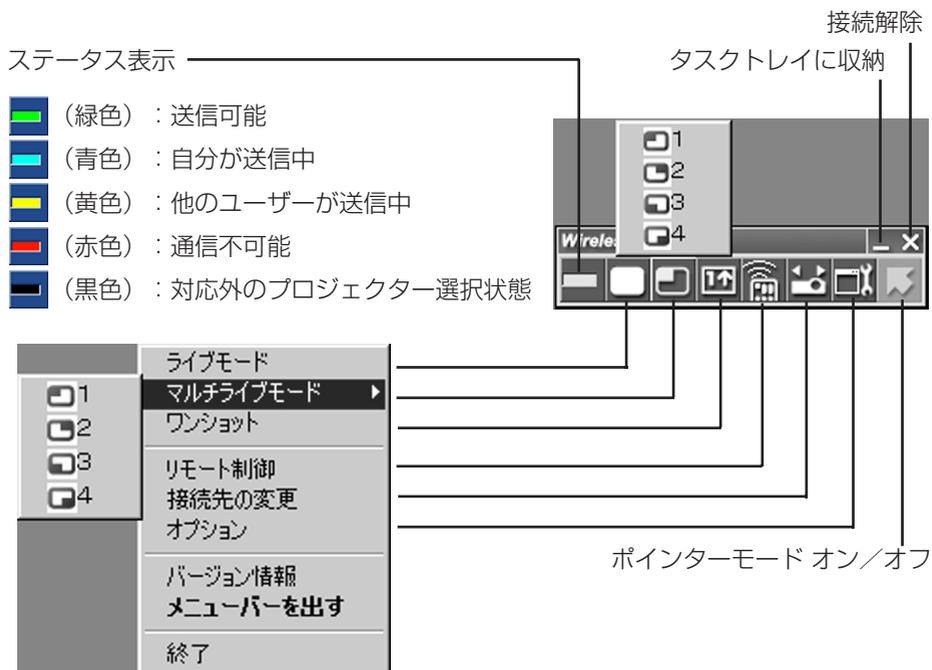
Windows Me/98SE では、ネットワーク番号は [1] または [USER] のみの選択となります。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ランチャーとメニューの説明

ランチャーはパソコンの画面に常駐し、各種操作をするために使用します。

メニューはタスクトレイの[無線]を右クリックして表示します。



- ライブモード：** パソコン画面を画面一杯に表示します。
- マルチライブモード：** パソコン画面を画面の4つの領域のうちの1つに表示します。
- ワンショット：** 現在のパソコン画面をプロジェクターに1回のみ送信します。
- リモート制御：** WEBコントロール を起動します。
- 接続先の変更：** 選択すると接続先選択画面が表示されます。
- オプション：** オプションを設定します。

お知らせ：

- Windows 2000/XPでは、ランチャーはパソコンの画面のみに表示され、プロジェクターでは投写されません。
- ランチャーをパソコンの画面に表示させたくない場合は、タスクトレイ に収納しタスクトレイ からメニューとして使用することもできます。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ライブモード

1 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する

2 ランチャーの  をクリックする

現在のパソコン画面が選択されているプロジェクターに送信されます。ライブモードは1台のパソコンでプロジェクターを占有しますので、他のパソコンから操作できません。

お知らせ：

全画面ライブでのプレゼンテーションは、リモコンの[▲▼] ボタンがパソコンの上下キーと同等の動きをしますので、[▲▼] ボタンをサポートしてるパソコンのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。

■ ライブモードを終了するには

ランチャーの  をクリックする

お知らせ：

ライブ終了時に最後の画面を本機に残すか、クリアするかの設定はオプションで行うことができます。(25ページ参照)

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

マルチライブモード

このモードは、4台のパソコンから1台のプロジェクターに同時に画像を送信することができます。また、このモードには“4画面スタイル”と“インデックススタイル”の2種類があり、リモコンの[IndexWindow] ボタンを押すか、または本機メニュー（27ページ参照）の[IndexWindow] ボタンを押すことにより交互に切り替えることができます。

4画面スタイル



インデックススタイル



お知らせ：

- プロジェクター起動時は、4画面スタイルになります。
- スタイル切り替え時、ライブモード中のパソコンは、ライブモードが解除されます。ライブモードを再開したい場合は、ランチャーから再度ライブモードを実行してください。

■ 4画面スタイル

- 1 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する
- 2 ランチャーの[IndexWindow] ボタンをクリックする
- 3 投写させたい位置を選択してクリックする
4分割した画面にパソコンの画像が送信されます。

別の位置に切り替えるには

上記手順3で投写させたい別の選択してクリックする

マルチライブモードを終了するには

上記手順3でチェックの付いている位置を選択してクリックする

お知らせ：

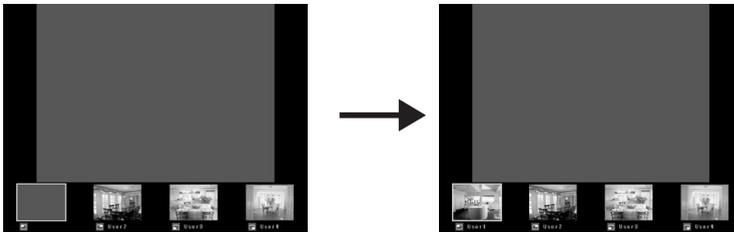
4画面スタイル中は、本機に接続している全てのパソコンから本機にパソコン画面を転送することができます。（後からのマルチライブの要求が優先されます）



Wireless Manager ME を使用する (つづき)

■ インデックススタイル

- 1 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する
- 2 ランチャーの [] をクリックする
- 3 投写させたい位置を選択してクリックする
対応するアイコンの領域に、パソコンの画像が送信されます。



拡大表示

- リモコンの[◀ ▶]ボタンで拡大したい画像にフォーカスを移動し、[ENTER] ボタンを押します。
画面上部に画像が拡大して表示されます。
- さらに続けて [ENTER] ボタンを押すと、画面全体に画像が表示されます。
- 1つ前の画面に戻りたい場合は、再度 [ENTER] ボタンを押してください。



お知らせ：

拡大表示中は、リモコンの[▲ ▼] ボタンがパソコンの上下キーと同等の働きをしますので、[▲ ▼] ボタンをサポートしているパソコンのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。その際、[▲ ▼] ボタンで操作したいアプリケーションのウィンドウをアクティブにしてください。(ランチャーを操作すると、ランチャーがアクティブになりますので、再度必要なアプリケーションのウィンドウをアクティブにする必要があります。)

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

マルチライブモードを終了するには

前ページ手順3でチェックの付いている位置を選択してクリックする



お知らせ：

インデックススタイル中は、ステータス表示は緑色点灯のまま変わりません。また、他のパソコンは未使用のアイコン領域のみにパソコン画面を本機に転送することができます。

ワンショットモード

パソコン画面の現在のスナップショットがプロジェクターに送信されます。

- 1 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する
- 2 ランチャーの  をクリックする

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ポインターモード

ライブモード時、プロジェクター投写画面に表示するポインターの形状をプレゼンテーション用に変更することができます。

ランチャーの [] をクリックする

■ ポインターモード を終了するには

ランチャーの [] をクリックする

オプション

画像データ送信に関係する設定を行います。

ランチャーの [] をクリックする

下の画面が表示されます。



■ 画質の選択

パソコンからプロジェクターに送信する画像の質を選択します。

[ノーマル] または [高画質] を選択する

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

■ ライブモードの設定

ライブモード／マルチライブモード時のパソコンの動作を設定します。

[ライブモード終了時に投写画面をクリアする] :

ライブモード終了時にプロジェクターからの投写画面をクリアしたいときに設定します。通常は、ライブモード終了時の画像が投写されます。

[スクリーンセーバーを無効にする] :

Wireless Manager ME が動作中はパソコンのスクリーンセーバー機能を無効にします。ライブモード中にスクリーンセーバーを動作させたくないときに設定します。

[マルチライブモード時に送信者名を表示する] :

送信している画面の右上に、入力されている文字 (最大8文字) が表示されます。インデックス スタイル時は、アイコンの右側にも表示されます。(チェックを外している場合は、“No Name” と表示されます。)

■ ショートカットキーの設定

パソコンのキーボード操作で Wireless Manager ME の機能を制御するための設定をします。

[その他] をクリックする

[ライブモード] :

全面画面に移行します。

[マルチライブモード] :

マルチ画面に移行します。

[ワンショット] :

パソコンの全面画面を送信します。

[Pauseキーでライブモードを停止する] :

ライブモード／マルチライブモードを停止します。

[PrintScreenキーでワンショットを実行する] :

パソコンの全面画面を送信します。



お知らせ :

ライブモード／マルチライブモードのワンショットキーは、ライブを停止せずモードを切替えます。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

接続時にパスワードが必要なときの操作

[] マークのあるプロジェクターを選択した場合は、右の画面が表示されます。パスワードを入力し [OK] をクリックします。



お知らせ：

- パスワード入力画面で [キャンセル] をクリックすると、ランチャー (16ページ参照) に移行します。
- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 [OK] をクリックしてパスワード入力画面に戻り正しく再入力してください。

接続先の追加と削除

接続先選択画面の [ネットワーク] が [USER] のときは、下記の操作で接続先の追加削除を行います。

■ 接続先の追加

1 接続先選択画面で [指定] をクリックする

右の画面が表示されます。



2 [追加] をクリックし、追加したい接続先の IPアドレス (ピリオドも含む) を入力して [登録] をクリックする

手順1の画面の接続先リストに今登録した接続先が追加されます。



■ 接続先の削除

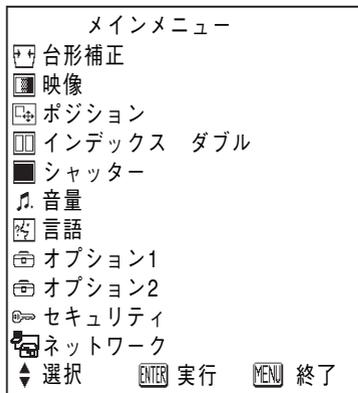
上記手順 1 の画面で削除したい接続先を選択して [削除] をクリックする

ネットワークメニューの表示

初期設定変更時に必要なネットワークメニューは次の手順で表示します。

1 本機の [MENU] ボタンを押す

メインメニューが表示されます。



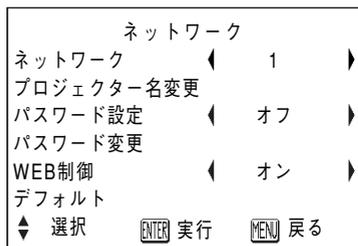
表示されないオンスクリーン項目について：

本機には入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。

調整または使用できない状態のときは、オンスクリーンの項目が表示されず、[ENTER] ボタンを押しても実行できません。

2 [▲▼] ボタンで [ネットワーク] を選択し [ENTER] ボタンを押す

ネットワークメニューが表示されます。



その他の使いかた（初期設定を変更する）

お買い上げ時の設定を変更して、パソコンと本機をワイヤレス接続する場合は、以下の設定を行います。

ネットワーク番号を変更する

■ 本機の操作

- 1 ネットワークメニューで [ネットワーク] を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- 2 [◀▶] ボタンで接続する番号を選択し、[ENTER] ボタンを押す



■ パソコンの操作

16ページの手順1～3 を実行後、次の操作をします。

- 4 ネットワーク番号リストからネットワークグループを選択する



お知らせ：

- Windows Me/98SE では、ネットワーク番号は [1] または [USER] のみの選択となります。
- [USER] は、パソコンのネットワーク設定を手動で行って本機と接続する場合に使用します。(32ページ参照)

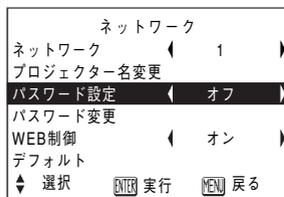
その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

ワイヤレスパスワード付き接続

本機に接続するユーザーに制限を加える場合に使用します。

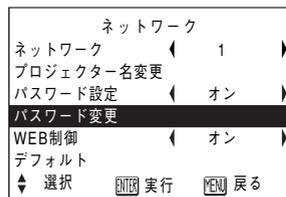
■ 本機の操作

- 1 ネットワークメニューで [パスワード設定] を選択する



- 2 [◀▶] ボタンで、[オン] を選択する

- 3 ネットワークメニューで [パスワード変更] を選択し、[ENTER] ボタンを押す



- 4 [◀▶▲▼] ボタンでパスワードを入力する

- 5 パスワード入力後 [OK] を選択し [ENTER] ボタンを押す

変更をキャンセルする場合は、[Cancel] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。



■ パソコンの操作

16ページをご覧ください。

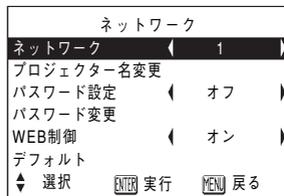
その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

ワイヤレスユーザー接続

16ページの操作で本機とパソコンの接続ができなかったときは、下記の操作で接続してください。

■ 本機の操作

- 1 ネットワークメニューで
[ネットワーク] を選択し、
[ENTER] ボタンを押す



- 2 [◀▶] ボタンで [ユーザー] を
選択し、[ENTER] ボタンを押す



■ パソコンの操作

- 1 ワイヤレスカードのユーティリティを起動する

SSID、通信モード、WEPは、本機ネットワーク [ユーザー] の工場出荷設定と同じ設定をします。

本機ネットワーク [ユーザー] の工場出荷設定	
SSID	: Panasonic Projector
通信モード	: 802.11 AdHoc
WEP	: Off

- 2 Windows の TCP/IP 設定画面を起動する

詳細は Windows のマニュアルをご覧ください。

サブネットマスクは、本機ネットワーク [ユーザー] の工場出荷設定と同じ値を登録します。

また、IPアドレス は本機ネットワーク [ユーザー] の工場出荷設定サブネットマスクの255と表記されているところまで同じ値を入力し、残りは違う値にします。

設定例

設定項目	本機ネットワーク [ユーザー] の工場出荷設定	パソコンの設定例
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	255. 255. 255. 0
IPアドレス	192. 168. 10. 100	192. 168. 10. 101

- 3 Wireless Manager ME を起動し、ネットワーク番号
リストから [USER] を選択する (28ページ参照)

接続先リストに本機のホスト名が表示されるまで待ち、表示されたらホスト名を選択し、接続を実行します。

その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

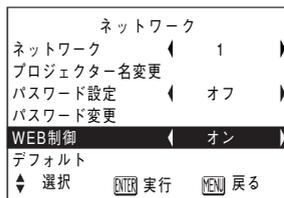
ユーザー設定の変更

以下の操作をする前に本機とパソコンの接続をしておいてください。
(15ページまたは30ページ参照)

■ 本機の操作

1 ネットワークメニューで
[WEB制御] を選択する

2 [◀▶] ボタンで [オン] を選択する



■ パソコンの操作

1 ランチャー（16ページ参照）の [🏠] をクリックする

2 WEBコントロール で本機の設定を変更する

SSID、通信モード、IPアドレス、サブネットマスク、WEP を設定し、WEBコントロールを終了します。

お知らせ：

ユーザー設定にした場合は、本機のネットワークを [USER] に切り替えるまで接続先リストに表示されません。

その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

パソコンの設定

■ TCP/IPの設定

Windows XP/2000の場合：

画面は、Windows XPの例です。

- (1) [マイネットワーク] を右クリックし、プロパティを開く



- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] を右クリックし、プロパティを開く



- (3) インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択し、[プロパティ] をクリックする



- (4) 本機で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスを入力する

- (5) 本機で設定したサブネットマスクと同じ値を入力し、ゲートウェイを設定した後（インフラストラクチャモードのみ）、[OK] をクリックして前画面に戻る



- (6) [OK] をクリックする
再起動せずにそのまま使用できます。

その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

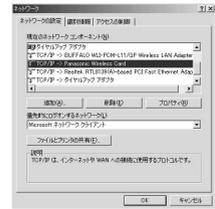
Windows Me/98SEの場合：

画面は、Windows Meの例です。

- (1) [マイネットワーク] を右クリックし、プロパティを開く



- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- (3) 本機で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスを入力する

- (4) 本機で設定したサブネットマスクと同じ値を入力する



- (5) ゲートウェイを設定し（インフラストラクチャモードのみ）、[OK] をクリックして前画面に戻る

- (6) [OK] をクリックする



- (7) [はい] をクリックする



その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

■ 別売ワイヤレスカード（TW-CDWL3）使用のための設定

（TW-CDWL2の場合は49ページ参照）

Windows XPの場合：

専用のユーティリティソフトは不要です。詳細はWindows XPのマニュアルをご覧ください。

- (1) 本機の電源をオンにする
- (2) [スタート] → [接続] → [すべての接続を表示] → [ワイヤレスネットワーク接続] を選択する
- (3) [Panasonic Wireless LAN PC Card] アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択する
ワイヤレスネットワーク接続画面が表示されます。
- (4) [利用できるワイヤレスネットワーク] の一覧から本機の SSID（ネットワーク [USER] の工場出荷設定はPanasonic Projector）を選択し、[接続] をクリックする

お知らせ：

- 本機にて暗号化（WEP設定）が設定されている場合は、[接続] をクリックする前に [ネットワークキー] にWEPキー（文字入力）の情報を入力してください。（工場出荷設定はWEPなし）
- ネットワークの詳細設定を確認したいときは、ネットワーク接続画面で [ワイヤレスネットワーク設定] アイコンをクリックしてください。

その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

Windows 2000/Me/98SE の場合：

お願い：

簡単接続中はユーティリティソフトを使用しないでください。本機との接続で問題が発生する場合があります。

- (1) パソコン右下の常駐アイコンをダブルクリックすると、ユーティリティソフトが起動されます。



- (2) [Profile] をクリックする

- (3) ネットワークの設定名を入力し、接続したい本機のSSID（ネットワーク [USER] の工場出荷設定はPanasonic Projector）を入力する



- (4) 接続したい本機の通信モード（ネットワーク [USER] の工場出荷設定は Peer to Peer）を選択し、通信速度（Tx Rate）は [Full Automatic] を選択する
チャンネル（Channel）はデフォルトのままにしておいてください。

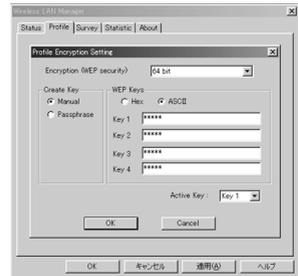
- (5) 本機にて暗号化（WEP）が設定されている場合は、暗号設定（Encryption）をクリックする



（つづく）

その他の使いかた（初期設定を変更する）（つづき）

- (6) 本機に設定されている暗号キー長を選択し、WEPキーを入力する



お知らせ：

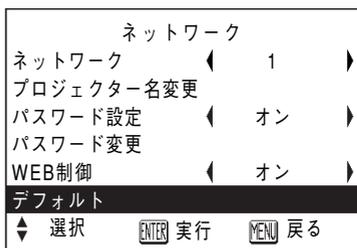
- 通信モードは、アドホックモードには対応していません。802.11 アドホック（Peer to Peer）かインフラ（Access Point）を選択します。
- 別売品（TW-CDWL3またはTW-CDWL2）以外のカードにはアドホックモードのみにしか対応していないものがあります。このようなカードは使用できません。
- 暗号化（WEP）設定をするときには、[Disable] から 64 bits/128 bitsを選択します。使用しないときは [Disable] にします。
- WEPの入力は文字入力（ASC II）か16進入力（Hex）を選択できます。
文字入力：64 bits では5文字、128 bits では13文字
16進入力：0-9、A-Fでそれぞれ10文字、26文字
- WEPキーは本機側の設定に合わせてください。
そして、キー（Active Key）はデフォルトの1のままにしてください。

初期設定に戻す

変更した設定を初期化することができます。

本機の操作

- 1 ネットワークメニュー（27ページ参照）で [デフォルト] を選択し、[ENTER] ボタンを押す



お知らせ：

セキュリティメニューでパスワード設定がオンになっているときは、パスワードが要求されます。

- 2 [◀▶] ボタンで [実行] を選択し、[ENTER] ボタンを押す



パソコンの操作

Wireless Manager ME を起動し、ネットワーク番号を [1] に設定する（28ページ参照）

WEBブラウザコントロールを使用する

本機の設定

1 ネットワークメニュー（27ページ参照）で [WEB制御] を選択する

2 [◀▶]ボタンで [オン] または [オフ] を選択する

WEB制御

オン：WEBブラウザコントロールを有効にする。

オフ：WEBブラウザコントロールを無効にする。

お知らせ：

工場出荷時、WEBブラウザコントロールのパスワードは設定されていません。パスワードはWEBブラウザ上で設定してください。またパスワードを忘れた場合は、ネットワークメニューの [デフォルト] を選択し、ネットワークの設定を初期化してください。（37ページ参照）

WEBブラウザコントロールを使用する (つづき)

パソコンの設定

1 [Internet Explorer]アイコンを右クリックする

プロパティを開きます。



2 [接続] → [LANの設定]を開き、「自動構成スクリプトを使用する」にチェックが入っている場合はそのチェックを外して、[OK]をクリックする

設定画面が閉じられます。



お知らせ：

- プロキシサーバをすでに使用している場合、ネットワーク番号が1～4のときは自動的に設定されます。(ただし、Internet Explorer Ver.6.0以上)
- 上記以外の場合は [詳細設定] のなかで、プロキシサーバを使用しない例外として、接続する本機のIPアドレスを設定する必要があります。

3 [セキュリティ]で、セキュリティのレベルを[規定のレベル]にする または[レベルのカスタマイズ]から[アクティブスクリプト]を有効にする

お知らせ：

Netscapeの場合は、[編集] → [設定] → [詳細]で、JavaScriptを有効にしてください。

WEBブラウザコントロールを使用する (つづき)

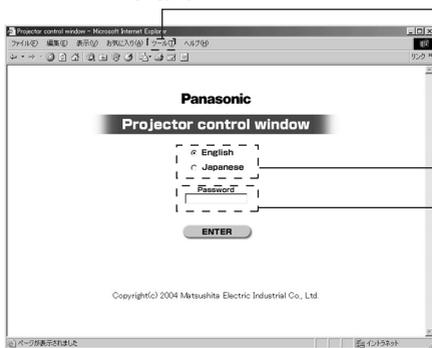
WEBブラウザコントロールの起動

ランチャー (16ページ参照) のをクリック、またはブラウザ閲覧ソフトを起動させ、本機で設定したIPアドレスを入力する (ここではMicrosoft社Internet Explorerを例に説明しています。)



Webブラウザコントロールが起動します。

■ トップ画面



プロキシサーバーを使用しないように設定する (プロキシサーバーを使用する場合は、39ページをご覧ください。)

日本語/英語を選択する

パスワードを設定しているときはパスワードを入力する

お知らせ :

- パスワードを忘れてしまったときは、本機側で新規にパスワードを設定してください。(これまでお使いのパスワードはセキュリティ保護のため、本機でも見えないようになっています。)
- ブラウザ閲覧ソフトによってはトップ画面が表示されないときがあります。再度WEBブラウザコントロールを起動するか、[CTRL] + [R] キーを押してください。

WEBブラウザコントロールを使用する (つづき)

プロジェクトコントロール

メニューの [プロジェクトコントロール] をクリックする
本機の各種設定を行うことができます。

■ 基本制御画面



お知らせ：

- 電源オン直後は、本機と接続できない場合があります。そのときは時間を少しおいて、再度接続してください。
- 本機のネットワーク設定でWEB制御をオンに設定していない場合、基本制御、オプション制御とも動作しません。

■ オプション制御画面



お知らせ：

本機が制御通りに動作しないときは、本機のオプションメニューでWEB制御の項目がオンになっているかを確認してください。

WEBブラウザコントロールを使用する (つづき)

■ モニター情報画面



お知らせ：

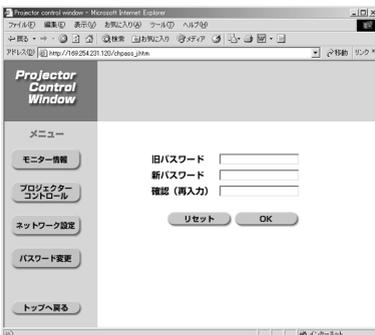
モニター情報は、一定の間隔で更新されますが、[表示] → [最新の情報に更新] を押すと、現在の正確な情報を確認することができます。

■ ネットワーク設定画面



[ネットワーク設定]→[NEXT]をクリックして設定画面を表示し、必要なデータを入力する。

■ パスワード変更画面



旧パスワードと新パスワードを入力し、[OK]をクリックする。

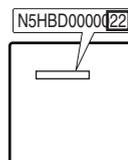
TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について

■ 使用できるチャンネルについて

ワイヤレスカードを使用される国または地域によって使用できるチャンネル（周波数範囲）が異なります。下記の表を参照してください。

国または地域	規格	カード品番 の下二桁※	使用 チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD33 & T66	22	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
アメリカ	FCC part 15	23	1 - 11	2,412 MHz - 2,462 MHz
台湾	DGT			
マレーシア	SIRIM			
イギリス、ドイツ、 フランス、イタリア、 ベルギー、オーストリア、 スウェーデン、 ノルウェー、デンマーク、 スイス、オランダ、 フィンランド、 ポルトガル、ギリシャ、 タイ、韓国、 オーストラリア、 ニュージーランド	ETSI 300.328	24	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
スペイン	ETSI 300.328	25	10、11	2,457 MHz - 2,462 MHz
シンガポール	IDA	26	10 - 13	2,457 MHz - 2,472 MHz

※お買い上げのワイヤレスカードが、どの地域向けの商品であるかを調べるには、カード裏面ラベルの右図の位置に記載されている品番の下二桁を確認してください。



お知らせ：

指定された国以外に、ワイヤレスカードを持ち込むことはできません。もし、持ち込んで使用した場合、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

■ Wireless LAN Driverのインストール

パソコンでワイヤレスカードを使用するためには、Wireless LAN Driverのインストールが必要です。

- TW-CDWL2 の場合のインストール例を以下に説明します。
- いくつかの画面は英語で表示されます。

お願い：

- Wireless LAN Driverをパソコンにインストールするときは、ワイヤレスカードをパソコンに挿入する前に実行してください。
- 誤ってドライバのインストール前にカードをパソコンに挿入した場合は、ハードウェアの自動検出により不明なデバイスとして認識されます。カードを挿入したまま以下の作業をしてからインストールしてください。

Windows XP/2000： [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] → [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたは Panasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する

Windows 98 SE/Me： [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたは Panasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
インストール画面が表示された場合は[閉じる]をクリックします。

2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選択する

3 [名前]欄に[e:¥CDWL2¥setup.exe]と入力し、[OK]をクリックする

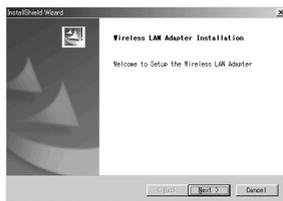
ドライブ名をEドライブと仮定した場合です。
先頭のeは、ドライブ名に合わせてください。

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

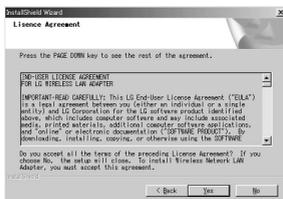
Windows 2000 の場合：

44ページの手順1～3を実行すると、ワイヤレスLANのインストーラが起動されるので次の操作をします。

4 [Next] (次へ) をクリックする
License Agreement (使用許諾) が表示されます。



5 [Yes] (同意) をクリックする



6 ユーティリティの保存先を指定 → [Next] をクリックする
ソフトウェアがダウンロードされ、[デジタル署名が見つかりませんでした] が表示されます。



7 [はい] をクリックする
画面の指示に従って作業を進めてください。



8 [Finish] (完了) をクリックする
インストールが完了です。



9 TW-CDWL2 をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する
(14ページ参照)

[デジタル署名が見つかりませんでした] が表示されたら [はい] をクリックして続行してください。

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

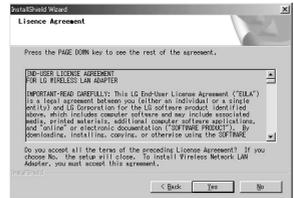
Windows 98SE/Me の場合：

44ページの手順1～3を実行すると、ワイヤレスLANのインストーラが起動されるので次の操作をします。

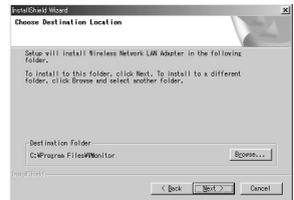
4 [Next] (次へ) をクリックする
License Agreement (使用許諾) が表示されます。



5 [Yes] (同意) をクリックする



6 ユーティリティの保存先を指定 → [Next] をクリックする
ソフトウェアがダウンロードされます。



7 [Yes, I want to restart my computer now.] (今からパソコンを再起動します。) にチェックがあるのを確認 → [Finish] (完了) をクリックする
パソコンが再起動されます。



8 TW-CDWL2 をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する
(14ページ参照)

右の常駐アイコンが確認できればインストール完了です。常駐アイコンがないときは、[スタート] → [プログラム] → [Wireless Network] → [Wireless Network LAN Adapter] を選択する



TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

Windows XP の場合：

44ページの手順1～3を実行すると、ワイヤレスLANのインストーラが起動されるので次の操作をします。

4 [Next] (次へ) をクリックする

License Agreement (使用許諾) が表示されます。

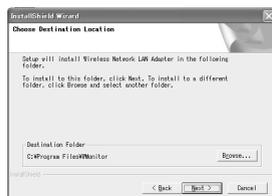


5 [Yes] (同意) をクリックする



6 ユーティリティの保存先を指定 → [Next] をクリックする

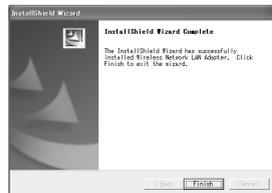
□ログ認証のメッセージが表示されます。



7 [続行] をクリックする



8 [Finish] (完了) をクリックする



(つづく)

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

9 TW-CDWL2 をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する

(14ページ参照)

新しいハードウェアの検出ウィザードが起動されます。



10 [ソフトウェアを自動的にインストールする] にチェックが入っているのを確認 → [次へ] をクリックする

ロゴテキストのメッセージが表示されます。

11 [続行] をクリックする

ウィザードの完了メッセージが表示されます。



12 [完了] をクリックする

ロゴ認証のメッセージが表示されます。



インストール後の確認：

[スタート] → [すべてのプログラム] → [接続] → [すべての接続の表示] でワイヤレスネットワーク接続のアイコンに [Panasonic Wireless LAN PC Card] が追加されていることを確認してください。

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

■ TW-CDWL2使用のための設定

Windows XPの場合：

専用のユーティリティソフトは不要です。詳細はWindows XPのマニュアルをご覧ください。

- (1) 本機の電源をオンにする
- (2) [スタート] → [接続] → [すべての接続を表示] → [ワイヤレスネットワーク接続] を選択する
- (3) [Panasonic Wireless LAN PC Card] アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択する
ワイヤレスネットワーク接続画面が表示されます。
- (4) [利用できるワイヤレスネットワーク] の一覧から本機の SSID (ネットワーク [USER] の工場出荷設定はPanasonic Projector) を選択し、[接続] をクリックする

お知らせ：

- 本機にて暗号化 (WEP設定) が設定されている場合は、[接続] をクリックする前に [ネットワークキー] にWEPキー (文字入力) の情報を入力してください。(工場出荷設定はWEPなし)
- ネットワークの詳細設定を確認したいときは、ネットワーク接続画面で [ワイヤレスネットワーク設定] アイコンをクリックしてください。

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

Windows 2000/Me/98SE の場合：

お願い：

簡単接続中はユーティリティソフトを使用しないでください。本機との接続で問題が発生する場合があります。

- (1) パソコン右下の常駐アイコンをダブルクリックすると、ユーティリティソフトが起動されます。



- (2) [設定] の項目をクリックし、[追加] をクリックする



お知らせ：

設定済みの内容を変更するときは、変更する設定名をマウスで選択した後 [変更] をクリックします。

- (3) ネットワークの設定名を入力し、[次へ] をクリックした後、ネットワーク名（接続したい本機のSSID、ネットワーク [USER] の工場出荷設定は Panasonic Projector）を入力する



- (4) 接続したい本機の通信モード（ネットワーク [USER] の工場出荷設定は 802.11 AdHoc）を選択し、通信速度を [自動] に設定した後、[次へ] をクリックする



- (5) 本機にて暗号化（WEP）が設定されている場合は、ここで設定してください。
（ネットワーク [USER] の工場出荷設定は [Off] ）

(つづく)

TW-CDWL2(別売ワイヤレスカード)の使用について(つづき)

お知らせ：

- 通信モードは、アドホックモードには対応していません。802.11 アドホック (Peer to Peer) がインフラ (Access Point) を選択します。
- 別売品 (TW-CDWL3またはTW-CDWL2) 以外のカードにはアドホックモードのみにしか対応していないものがあります。このようなカードは使用できません。
- 暗号化 (WEP) 設定ををするときは、[Off] から 64 (40) bits/128 bitsを選択し、[次へ] をクリックします。使用しないときは [Off] にします。
- WEPの入力は文字入力か16進入力を選択できます。
文字入力：64 (40) bits では5文字、128 bits では13文字
16進入力：0-9、A-Fでそれぞれ10文字、26文字
- WEPキーは本機側の設定に合わせてください。そしてデフォルトキーは1のままにしてください。



- (6) [IPアドレスを設定する] を [使用しない] に設定し、[完了] をクリックする



お知らせ：

リンクの状態では本機との接続状態を確認出来ます。[詳細...] をクリックします。



ソフトウェアのアンインストール

Wireless Manger ME

デスクトップから、[スタート] → [プログラム] → [Panasonic Wireless Display] → [Wireless Manager mobile edition の削除] を選択する

画面の指示に従ってアンインストールしてください。

Wireless LAN Driver

■ Windows XP の場合

- 1 付属の CD-ROM を CD-ROMドライブにセットする
- 2 CD-ROM内の[Wireless Card] → [setup. exe] を実行する
アンインストールのソフトが起動されます。
- 3 [Remove] (削除) のチェックを確認し、[Next] (次へ) をクリックする
- 4 アンインストール完了のメッセージが表示されたら、[Finish] (完了) をクリックする

■ Windows 2000/Me/98SE の場合

- 1 [スタート] → [プログラム] → [Wireless Network] → [Uninstalled] を実行する
- 2 [Remove] (削除) のチェックを確認し、[Next] (次へ) をクリックする
- 3 [Yes, I want to restart my computer now.] (今からパソコンを再起動する) のチェックを確認し、[Finish] (完了) をクリックする

用語の説明

802.11 AdHoc (Peer to Peer) モード

本機とワイヤレスLAN内蔵パソコン、またはワイヤレスLANカードを取り付けたパソコンで直接通信するモードです。SSID の設定が必要です。

アクセスポイント

ワイヤードLANとワイヤレスLANとをつなぐ無線基地局。

アドホック (AdHoc) モード

本機とワイヤレスLAN内蔵パソコンまたはワイヤレスLANカードを取り付けたパソコンとの間で、直接、通信するモードです。本機とパソコンでチャンネルを共通に設定する必要があります。このモードに対応していないカードもあります。

チャンネル

通信時に同じ周波数帯を利用した複数のアクセスポイントを近くに設置すると、お互いの電波が干渉して通信速度が落ちる場合があります。ワイヤレスLANではこれを少なくするため、周波数帯を14のチャンネルに分けて通信を行うことができます。(使用される国によってチャンネル数は異なります。)ただし、隣り合うチャンネルは干渉があるため、通常運用の際には2、3チャンネル離して設定します。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振る機能。DHCPサーバーの機能を持った機器がLAN内にあれば接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振ります。本機側では対応していません。

ゲートウェイ (Gateway)

異種のネットワークを接続する中継点のことをいいます。使用しているネットワークの規格と異なったネットワークなどに接続する場合などに使われるハードやソフトのことをいいます。双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、他のネットワークとの接続を可能にします。

インフラストラクチャ (Infrastructure) モード

ワイヤードLANに接続したアクセスポイントを介して通信を行うモードです。ワイヤレスLANカードを取り付けていないパソコンでもアクセスポイントを介して本機に画像を転送することができます。

IPアドレス

IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、データを配送する先にあたるアドレスのことをIPアドレスといいます。同一LAN内で同じIPアドレスを使用することはできません。

用語の説明 (つづき)

LAN

Local Area Networkの略。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。ワイヤードLANとワイヤレスLANがあります。

SSID

Service Set IDの略。アクセスポイントを利用するワイヤレスLANでは、そのLANに含まれる機器とそうでない機器を区別するためにSSIDの識別コードを設定する必要があります。

一部メーカーのワイヤレスLANカードによっては、「ESSID」や「ネットワーク名」などと表示されている場合もあります。

サブネットマスク (Subnet Mask)

TCP/IP接続時には、ネットワークをいくつかに分けるため、パソコンに割り当てるIPアドレスの範囲を限定します。このときにネットワークを区切るための数値をサブネットマスクといいます。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットの標準プロトコル。

プロトコルとはパソコン同士がデータ通信する際の規約、約束事のことをいいます。

WEP

Wired Equivalent Privacyの略。通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する利用者だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">• ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。([Fn] + [F3] ボタンを同時に押すと、外部出力の設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によりしますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)
パソコンがワイヤレスカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">• ワイヤレスカードが、パソコンのPCカードスロットの奥まで確実に差し込まれていますか。• ドライバがインストールされていますか。• ワイヤレスカード挿入前にドライバをインストールしましたか。• IRQ (割り込み信号) 番号が不足していませんか。(Windowsのオンラインヘルプをご覧ください。)
転送速度が遅くなった	<ul style="list-style-type: none">• 使用環境 (場所、電波状況、距離など) によっては、遅くなる場合があります。• WEPの設定を行うと、画像データを変換するため、転送時間がかかります。
ライブモード時画像表示が遅い	<ul style="list-style-type: none">• パソコンCPU の速度が遅くないですか。ライブモードはパソコンCPU性能に大きく依存します。• Windows XP/2000 の場合は、Administrator 権限がないと速度が著しく低下することがあります。

修理を依頼される前に (つづき)

症状	ここをお調べください
<p>Wireless Manager ME の接続先リストの中に本機が見つからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンと本機との間が離れすぎていないか、障害物があるため電波状態が悪くないか確認してください。 • IPアドレスやサブネットマスクが正しく設定されているかを確認してください。 • パソコンにTCP/IPがインストールされていますか。 • WEPの設定が本機と合っていますか。オプション以外のワイヤレスカードを使用している場合やアクセスポイントを使用している場合にWEP機能を設定していると本機と通信できません。WEP機能を解除してください。 • [インフラストラクチャ (Infrastructure)] モードの場合、本機とパソコンは、使用するアクセスポイント [SSID] と同じ設定にしてください。[SSID] では、半角の英数記号 (大文字、小文字の区別あり) が使えます。また、アクセスポイントに通信できるパソコンを制御する機能を使用していないか確認してください。 • [802.11 アドホック (Peer to Peer)] モードの場合、本機とパソコンのSSIDは同じ設定にしてください。大文字、小文字の区別もあります。 • ワイヤレスカード以外のネットワークデバイスが有効になっていませんか。Windowsのデバイスマネージャーで確認してください。 • プロキシクライアントソフトウェアが動作していませんか。本機を通信するときは、無効にしてください。 • パーソナルファイアウォール機能がついたセキュリティソフトウェアが動作していませんか。本機で通信するときは、ソフトウェアを終了させるか、除外設定を行ってください。
<p>Wireless Manager ME の色表示がおかしく、文字が読みづらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> • デスクトップの何も無いところを右クリックし、[プロパティ] を選択してください。さらに、[画面のプロパティ] 画面の「設定」タブを開き、[画面の色] を [16ビット] 以上に設定してください。

商標について

- Windowsは、米国 Microsoft Corporation（マイクロソフト社）の米国およびその他の国の商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®やTMマークは明記していません。

ご注意

- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

M0304-1034

松下電器産業株式会社
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.